



市議会だより

OTA City council

No.88

主な掲載記事

- P.2 ~P.5 ……一般質問
- P.5 ~P.6 ……常任委員会
- P.6 ~P.8 ……決算特別委員会
- P.8 ……9月定例会の議案審議結果など

発行:太田市議会【太田市浜町2番35号 TEL.0276-47-1806 FAX.0276-47-1860】

議

会

傍

聴

に

行

こ

う

！

太田市議会では、特別な手続きをすることなく、どなたでも自由に傍聴ができます。
9月定例会では、関東学園大学経済学科(公共政策コース)の2年生がお越しくださいました。
学生2人へのインタビューの様子を8ページに掲載しています。

(関連記事8ページに)

議員と話そう! 令和4年度太田市議会

議会報告会・意見交換会

市政の身近なテーマについて、少人数のグループに分かれて話し合う、議会報告会・意見交換会を開催します。気軽な雰囲気の中で、「暮らしやすい太田市」について、皆さんの自由な意見をお聞かせください。

日時 令和5年1月14日(土)、午後2時~午後3時30分(予定)まで

会場・テーマ 太田行政センター 「災害対策について」

九合行政センター 「子育てについて」

鳥之郷行政センター 「ごみ対策について」

対象 市内在住の人

定員 太田行政センター 10人

九合行政センター 17人

鳥之郷行政センター 11人

※定員を超えた場合は抽選とし、結果は申込者全員に通知します。

締め切り 令和4年12月20日(火)

申込方法 電話、ファクス、郵便、電子メールのいずれかの方法でお申し込みください。お申し込みの際は ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④参加したいテーマの会場名(第2希望・第3希望があれば、その会場名)をお知らせください。

申込先 太田市議会事務局

〒373-8718 太田市浜町2番35号

☎0276-47-1806 FAX0276-47-1860

e-mail:otagikai@mx.city.ota.gunma.jp

⚠ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる場合があります。

12月定例会の日程

11月30日(水) 本会議 一般質問

12月 1日(木) 本会議 一般質問

12月 2日(金) 本会議 一般質問 市長提出議案の説明

12月 6日(火) 本会議 議案質疑 委員会付託

12月 8日(木) 総務企画委員会 市民文教委員会

12月 9日(金) 健康福祉委員会 都市産業委員会

12月15日(木) 本会議 委員長報告など

※原則9時30分開会。日程・時間は変更の場合あり。

※議会改革推進特別委員会およびごみ減量対策調査特別委員会の開催日時については、ホームページに掲載する予定です。

⚠ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、傍聴の自粛をお願いする場合があります。
詳しくは太田市議会ホームページをご覧ください。電話等でお問い合わせください。

太田市議会事務局

☎0276-47-1806

FAX0276-47-1860

E-mail:otagikai@mx.city.ota.gunma.jp

9月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧ください。



本市の治水対策について



創政クラブ 高木 きよし

議員 近年、異常気象による災害が発生しており、本市でも令和元年東日本台風により、治水対策の重要性が再認識されたところです。本市の災害特性のうち、洪水の危険性について伺います。

総務部長 本市は渡良瀬川や利根川をはじめとした多くの河川に加え、中小の用水路も市内を流れているため、豪雨時における水位の上昇や事態の進展が早いことに留意する必要があります。

議員 本市における気象や地勢等の特性により起こり得る風水害の被害想定について伺います。

総務部長 近年の地球温暖化に伴う気候変動により、風水害の頻発化や激甚化が想定されます。具体的な想定最大規模の洪水浸水想定区域と土砂災害警戒区域は「太田市防災マップ」にまとめています。

議員 本市では、排水対策事業として、令和元年東日本台風による内水氾濫の対策工事が始まりましたが、内水氾濫対策事業の今後の展望について、市長の所

見を伺います。

市長 事業を進めるためには、国と県との連携が必須です。国、県、市が役割分担をしながら進めていく必要があると考えています。

議員 今後も頻発する集中豪雨の対策として、今まで以上の治水対策が必要です。本市のまちづくりの基本方針を示す「太田市総合計画」に治水対策を重点的に取り入れ、実施することにより、市民の安全で安心な暮らしにつながると考えますが、所見を伺います。

市長 今後も国や県と連携しながら、市でできることを積極的に取り組んでいきたいと思っています。



学校体育館へのエアコン設置について



公明クラブ 星野 一広

議員 学校体育館へのエアコン設置について、所見を伺います。

教育部長 近年の厳しい猛暑により、夏場の体育の授業や部活動の際に、エアコン設置の必要性が高まっています。国からも導入促進に関する通達が出ていますので、本市としても導入に向けた検討を進めていきたいと考えます。



議員 エアコン導入に向けての考え方について伺います。

教育部長 学校体育館はかなり古いものがありますので、導入にあたっては、どのようなものを入れるのが効果的か、検証していく必要があると考えます。

議員 子どもたちのこと、また、避難所として利用されることを考えると、学校体育館へのエアコン設置が求められると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 この暑さでは子どもたちが耐えられませんので、エアコンを設置するよう指示しました。まずは来年の夏に間に合うように、中学校の体育館に設置する予定です。小学校については、順次予算を組んで進めていきたいと思っています。

議員 避難所としての利用を考えると、電気が供給されない状況が想定されます。ガスで動くエアコンなど、導入機種の検討が必要と考えますが、所見を伺います。

市長 太田市では、ガスも多く利用していますので、教育委員会を中心に、機種の選定を進めていきたいと考えます。

■その他の質問

- ・金融機関からの収納手数料有料化問題について
- ・民生委員・児童委員の担い手確保について



消防本部の活動状況について



太田クラブ 中村 和正

議員 昨年11月から運用開始となったドクターカーの出動件数を伺います。

消防長 昨年11月の運用開始から本年7月までの出動件数は、92件です。

議員 ドクターカーの運用に係る今後の課題について伺います。

消防長 現状では、消防の救急予備車をドクターカーとして運用していますが、車両の老朽化により故障のリスクがあります。また、消防救急車を運用しているため、法的には3人の救急隊員の同乗が必要となることから、人員確保が課題として挙げられます。

議員 ドクターカー専用車両を運用する場合の人員配置基準について伺います。

消防長 いわゆる乗用車タイプであれば、医師及び看護師が乗車しての出動となり、この場合、法的には救急隊員が同乗する必要はありません。

議員 現在の運用では、ドクターカーを出動させるために3人の救急隊員が必要ですが、今夏の状況では、人員確保が

大変であったと聞いています。救急車に比べ、導入費用が抑えられ、少ない人員で運用できるドクターカーを早急に導入すべきと考えますが、市長の所見を伺います。



市長 全く同じ意見であり、現在太田記念病院と協議をしているところです。また、車両の供給については、(株)SUBARUとも話をしていますが、万が一の時には、市が所有している車両を利用して、ドクターカーに切り替え、対応したいと考えています。

■その他の質問

- ・市有施設のトイレの整備状況について
- ・運動公園総合整備全般について



災害時避難行動要支援者個別避難計画策定に向けての取り組みについて



太田クラブ 神谷 大輔

議員 災害対策基本法の一部改正により、避難行動要支援者の個別避難計画の作成が努力義務化されましたが、本市の取り組み状況について伺います。

福祉こども部長 避難行動要支援者名簿を作成し、毎年更新した上で、関係機関へ配布しています。

議員 本市が推進している要援護者等支援マップづくりは、避難行動要支援者の個別避難計画作成にあたって非常に有効であると考えますが、一体的な取り組みについて所見を伺います。

福祉こども部長 マップづくりは、地区ごとの取り組み状況に違いがありますが、地区の皆さんの理解や協力が得られれば、関係機関と協力し、一体的な取り組みを進めていきたいと考えます。

議員 個別避難計画は、地域力の底上げや共助の強化につながると考えますが、課題となる面を含め、所見を伺います。

福祉こども部長 個別避難計画には、市と地域の連携による共助の仕組みが重

要ですが、地域の核となる自主防災組織の活動に地域差が見られることから、活動を活性化させることが課題と考えます。

議員 避難行動要支援者の個別避難計画作成を通じた共助の強化について、市長の所見を伺います。

市長 必要性は非常に感じています。また、本市はふれあい相談員が約6千人の一人暮らし高齢者を把握し、民生委員との協力体制が構築されています。これは他のまちにはない特長であることから、有効活用していきたいと考えます。



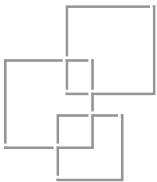
■その他の質問

- ・脱炭素化社会実現への取り組みについて

9月定例会では、8月31日から9月2日にかけて15人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合により、質問と答弁の要旨を1人1問ずつ紹介します。

なお、一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。

また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで12月下旬からご覧いただけます。



本市の魅力の発信について



太田クラブ 八長 孝之

議員 本市の施策や環境面での魅力について伺います。

企画部長 東京圏から近く、通勤通学が可能であることに加え、自然も豊かで、災害が少ないことから、暮らしやすい環境であると考えます。また、給食費や医療費の助成、第3子以降の出産祝金や保育料免除など、子育て支援に注力するとともに、芸術学校やスポーツ学校、プログラミング学校など、教育環境の充実に努めており、市民満足度アンケートでも高い評価を得ています。

議員 施策の充実や本市の魅力の発信について、今後の具体的な取り組み方針を伺います。

企画部長 来年度オープンの新市民体育館を活用し、スポーツや音楽イベントを通じて、持続的ににぎわいを醸成し、交流人口の増加を図りたいと考えます。また、企業版ふるさと納税等を活用するとともに、企業誘致や行財政改革を進め、雇用の促進やさらなる子育て支援を展開し、

住みたいと思われる魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えています。

議員 魅力ある本市に、多くの人に訪れてほしいと考えますが、今後のまちづくりについて、市長の所見を伺います。

市長 子育て支援に重点を置くことで、本市の評価や、移住・定住につなげていきたいと考えます。

議員 本市の魅力の積極的な発信について、所見を伺います。

市長 今住んでいる人のためにベストを尽くすことが非常に大切だと考えます。地道ではありますが、本市のプライドを高め、それが段々と浸透していくことが重要であると考えます。



気温40度に達する猛暑への対策と脱炭素を目的とする地域電源の創設について



創政クラブ 今井 俊哉

議員 暑さ指数(WBGT)に対する認識について伺います。

総務部長 暑さ指数とは、熱中症の危険度を判断するための指標です。日本スポーツ協会では「熱中症予防運動指針」を公表するなど、さまざまな現場において指標として活用されています。



議員 本市主催のスポーツ行事等における暑さ指数の利用状況を伺います。

文化スポーツ部長 令和3年度から、おおたスポーツ学校では、暑さ指数に基づき熱中症対策を行っています。なお、現状では、本市の関係団体が主催する大会において、暑さ指数は利用していません。

議員 おおたスポーツ学校では、昨年

から暑さ指数を利用していますが、この先進的な取り組みを、本市の関連するスポーツ団体まで波及させてほしいと考えます。そこで、熱中症による重大事故を防ぐための手立てについて伺います。

文化スポーツ部長 熱中症対策ガイドライン等を参考に、予防対策を講じていきたいと考えます。また、スポーツ団体の主催者が暑さ指数を理解し、的確に判断できるよう指導するとともに、スポーツ施設への暑さ指数計の設置等を検討していきたいと考えます。

議員 熱中症による事故防止のため、より科学的で有効な対策が必要であると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 熱中症の危険性に気付くことが非常に重要で、そのための道具として、暑さ指数計が欠かせないと考えます。大変よい質問をいただきましたので、来年の夏には間に合うように、市内の全てのスポーツ少年団に暑さ指数計を配布していきたいと思います。



安心・安全な水道水を活用した熱中症対策について



公明クラブ 前田 純也

議員 地球温暖化による気温上昇が著しく、本市は全国的に見ても暑い地域ですが、子どもたちを熱中症から守るための考え方について、所見を伺います。

教育長 子どもたちを熱中症から守るために必要なことは3つあると考えています。1つ目は、教育委員会がエアコンの適切な運用等、施設の有効活用を進めること。2つ目は、学校が暑さ指数計や熱中症アラートを参考に、子どもたちの安全を考え、夏場の活動を素早く制限すること。3つ目は、子どもたち自身が自ら危険を判断し、熱中症に対処する力を身に付けることであると考えています。

議員 熱中症のリスク回避や登下校時の負担軽減のために、学校への冷水機の導入が必要であると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 現在、2.5キロ以上の通学はスクールバスとし、学校にはエアコンも整備しています。公助だけでなく、体のリスク管理は自分でできるよう、生きる力を身に付

けてもらいたいと考えます。今後要望があれば協議したいと思っています。



議員 夏の期間だけでも、スクールバスに乗りできる子どもたちを増やすことで、熱中症対策につながると考えますが、所見を伺います。

市長 要望があれば協議していきたいと思いますが、いずれにしても、子どもたちが自らリスク管理できる力を身に付けてほしいと考えます。

■その他の質問

・マイ・タイムラインを活用した地域防災の強化について

・プラごみの削減に向けた取り組みについて



本市の清掃事業について



太田クラブ 大川 敬道

議員 本市のごみステーション収集業務の契約について伺います。

産業環境部長 可燃ごみは太田広域一般廃棄物事業協同組合、不燃・資源ごみ等は太田市環境整備事業協同組合と契約しています。

議員 各組合との契約内容と契約方法について伺います。

産業環境部長 市内全域のごみステーションの可燃ごみ及び不燃ごみ・資源ごみ等の収集運搬業務を行うものです。契約方法は、随意契約となっています。

議員 ごみ収集業務委託を随意契約とした理由について伺います。

産業環境部長 市民生活に直結する収集運搬業務は、安全かつ継続的に遂行させる必要があるため、業務に精通した業者との随意契約としています。

議員 足利市や熊谷市は、収集地域ごとに入札を行い、受託業者を選定しているようです。本市でも、競争入札を行うことで、市内業者の参入する機会が増える

と考えますが、所見を伺います。

産業環境部長 安定的で衛生的な処理を継続する必要があることから、県内12市の多くが随意契約を行っています。また、市民1人当たりの委託金額は県内でも安く、妥当な契約であると考えます。

議員 ごみ収集業務委託契約について、入札を実施し、業者を選定すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 ごみステーションをきれいな状態で維持する必要があるため、市民に迷惑をかけられないものです。また、単価も非常に安く抑えられており、ローコストでやろうと努力してくれていると認識しています。



9月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧ください。



本市の子育て支援について



太田クラブ 木村 浩明

議員 国では、令和5年度から新たに「こども家庭庁」が創設される予定ですが、本市の子育て支援に関する施策全体について、市長の所見を伺います。

市長 未就学児童については、文部科学省と厚生労働省で所管が別々になっていますが、本市では子どもに関することは一元化できるように「こども課」を創設しました。他の自治体に先駆けてさまざまな施策を職員と考え、可能な限り子どもに投資していく気持ちで今まで臨んできました。

議員 本市は、高校生までの医療費無償化や奨学金制度など、子育て支援が充実しています。子育て世帯にやさしいまちとして、積極的にPRを行うことについて、所見を伺います。

市長 今太田市に住んでいる人たちにとって、満足度が高い行政レベルを維持し、少しでもレベルを上げていくことが重要だと考えますので、職員一同、努力していきたいと思っています。

議員 子育て支援を充実させることは、

市民全体の利益であるということ、子育て世帯以外の市民にも知ってもらい、理解を得ることが重要だと考えますが、所見を伺います。

市長 子育て環境を充実させれば、必ず可処分所得が上がります。働く場所があり、多くの雇用が生まれれば、結果として市全体の所得も増加します。所得を得て生活するのに良い環境をつくるのが、行政の仕事だと考えます。ぜひご理解いただき、議員が各地で活動する際には、太田市のPRもしていただけると大変ありがたいと思います。



■その他の質問

・本市の人口ビジョンについて



学校施設におけるエアコンの設置について



太田クラブ 渡辺 謙一郎

議員 小・中学校の特別教室はエアコンの設置が進んでいない状況ですが、例年6月から9月における、小学校の図工室及び中学校の美術室の使用日数及び1日当たりの使用時間について伺います。



教育部長 小学校では月当たり約10日、1日当たり1、2時間の授業で使用しています。中学校では月当たり約20日、1日当たり4、5時間の授業で使用しており、部活動でも毎日使用しています。

議員 技術室の月間使用日数及び1日当たりの使用時間について伺います。

教育部長 月当たり約20日、1日当たり3時間の授業で使用しています。

議員 美術室と技術室は、月当たり約

20日使用しており、利用頻度が高いことから、全ての特別教室にエアコンを設置すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 例えば、夏場の暑い時期には、特別教室での授業は組まない。あるいは、各学校の空き教室を活用するなど、新たにエアコンを設置するのではなく、創意工夫をし、できるだけエアコンを使わない方法を考えるべきであると考えます。

議員 現在も非常に工夫して使用していると聞いていますが、それでも美術室等は月20日使用している状況であります。補助金の活用も含め、使用頻度の高い場所にはエアコンを設置すべきと考えますが、所見を伺います。

市長 必要であれば教育委員会も要求してくると思います。可能な限り工夫して、それでもどうしてもならない場合には、対応していかなければならないと考えています。

■その他の質問

・豪雨による浸水対策について



市街化区域への定住促進について



創政クラブ 矢部 伸幸

議員 市外在住者が市街化区域に新築住宅を建て、移住・定住する場合に、相当額の補助金を出すことで、まちづくり計画の促進や居住の誘導につながれると考えますが、所見を伺います。

企画部長 移住者への支援金として、現在国と県の補助金を活用し、単身の場合は60万円、2人以上世帯の場合は100万円を支給しており、令和4年4月以降は子ども1人につき30万円が加算されています。移住者への住宅建設資金の助成については、他市の状況等も踏まえ、研究していきたいと考えます。



議員 固定資産税収入などを考慮すると、200万円程度の補助を実施しても、

最終的にはプラスになると考えます。市街化区域に定住する際に助成を行うことについて、市長の所見を伺います。

市長 人が移動する時に、対価を与えて誘導するというのが、果たして良いことなのか考える必要があると思います。市民の満足度を高め、太田市は住みやすいと感じてもらうことがスタートだと思いますので、どういうやり方が良いか、今後も協議していきたいと思っています。

議員 本市でも、2年間で約2千人の人口減となっています。人口減少という視点から、本市の今後のまちづくりに対する所見を伺います。

市長 人口減少にはさまざまな要因があり、原因を特定するのは非常に難しいと考えます。ただ、建物に対して、または家族に対してお金を出すというよりも、子どもの数に応じて補助金を出すような施策が良いと考えます。太田市は、子どもに集約されているという考え方を確立させることが大切だと思います。



発達障がい児・者支援について



日本共産党 石井 ひろみつ

議員 群馬県内では、発達障がいのある児童・生徒が10年前と比較して2倍以上増加しています。発達障がいのある児童・生徒に対応するためには、教職員への研修が非常に重要と考えますが、研修内容について伺います。

教育部長 特別支援学級の教諭は、県総合教育センターの研修や特別支援教育指導員による研修を受講するほか、通常学級の教諭も理解を深める研修を受講しています。今後も研修の充実に努めていきたいと考えます。

議員 発達障がいのある児童・生徒への対応においては、専門機関や専門家との連携や、児童・生徒の発達障がいへの知識と理解を深めることが必要不可欠だと考えますが、教育長の所見を伺います。

教育長 専門機関との連携は大変重要ですので、連携を密にしたいと考えます。また、児童・生徒への指導については、発達障がいへの理解や知識だけでなく、個性や特徴に応じて、差別や偏見を生まな

いよう、お互いの良さや違いを認められるような指導を学校教育全体で行う必要があると考えます。

議員 発達障がいのある児童・生徒と接する機会を持つ放課後児童クラブ支援員や幼稚園、保育園等の教諭、保育士に対して、定期的に研修の機会を設け、人材育成を行うことについて、市長の所見を伺います。



市長 人材育成は非常に重要なことであると考えます。教育長や関係課を所管する部長とも研修の重要性について話していますので、これからも継続して研修を進めていきたいと思っています。

■その他の質問

・投票機会の確保について

9月定例会 一般質問要旨



下水道整備と使用料値上げについて



日本共産党 水野 正己

議員 来年4月から下水道使用料の値上げを実施した場合、個人と企業等を合わせた、太田市全体での市民負担増の見込みについて伺います。



都市政策部長 下水道使用料の使用者負担は約2億円増加しますが、これにより、現在一般会計から繰り入れを行っている市民負担の補助金約6億円のうち、約2億円を削減できると考えています。

議員 一般的な世帯をモデルケースとした場合の負担増の見込みを伺います。

都市政策部長 一般的な世帯の排水量を2カ月40立方メートルとすると、消費税込みで616円の増額となる予定です。

議員 コロナ禍と物価高騰、来年度からは水道料金も値上げとなりますが、下水

道使用料の値上げによるさらなる負担増について、所見を伺います。

都市政策部長 下水道事業は、市民負担である一般会計からの繰入金に頼る経営が続いており、下水道を使用していない人の負担による不公平感が是正されていない状況です。来年4月より使用料改定を行います。社会情勢を勘案し、1年間の経過措置を設け、改定の必要性等を丁寧に説明していきたいと考えています。

議員 食品をはじめ、あらゆるものが値上げされている状況下において、下水道使用料を当面の間は据え置きとすることで物価高騰対策になると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 コロナ禍が収束するまでは、値上げしないつもりでしたが、国からの補助金の期限もあり、値上げせざるを得ないことをご理解いただきたいと思います。

■その他の質問

・地域活動支援センターの今後について



不登校児童生徒の現状と対策について



創政クラブ 大川 陽一

議員 本市における民間フリースクールの現状について伺います。

企画部長 本年度より、フリースクール等民間施設事業費補助金交付事業を実施し、初回申請において、太田フリースクールあおばへ交付決定しました。現在は、2次申請の受け付けをおこなっています。

議員 本市における適応指導教室の利用推移と学校復帰の成果を伺います。

教育部長 市内に2カ所のふれあい教室があり、通室人数は令和元年度52人、2年度35人、3年度33人、2・3年度は50%を超える復帰率となっています。

議員 不登校生徒の進路指導について伺います。

教育部長 生徒や保護者の希望に沿った進路情報の提供を行い、通信制なども選択肢に入れた指導を行っています。

議員 校外の適応指導教室に、抵抗を感じる生徒もいると考えます。不登校生徒の進路実現のため、校内における学びの場の充実について、所見を伺います。

教育長 校内の別室、別名ほっとルームでの指導充実のため、今年度は中学校10校に教育相談員を重点配置しています。今後も各校の指導体制の充実に努めていきたいと考えます。



議員 民間フリースクールについて、市長の所見を伺います。

市長 フリースクールはそれぞれが個性を持っており、その個性や対応力を高めることで、価値が上がっていくと考えます。通信制や定時制など多様な学び方がありますので、不登校児童・生徒のための受け皿を作り、高校レベルの学習ができるような環境を、太田の子どもたちに整えてあげたいと考えています。



「地球の未来を太田から」の実現に向けた取組について



創政クラブ 久保田 俊

議員 本市におけるカーボンニュートラルに向けた市民意識の変革や、行動変容を促す施策について伺います。

産業環境部長 助成制度として、太陽光発電システムの導入に対する報奨金等を実施しており、今後は蓄電池やおひさまエコキュートの導入に対する報奨金を予定しています。市民の行動変容を促す取り組みとしては、市のホームページで気軽に取り組める活動を紹介しており、身近なことから取り組んでいけるよう啓発していきたいと考えています。

議員 太田市第2次環境基本計画にある「地球の未来を太田から」という言葉に込めた、市長の思いを伺います。



市長 バイオマス発電の電力を学校に供給する、いわゆる電力の地産地消の取り組みを通して、環境について子どもたちに勉強してもらうことが大切だと考えます。カーボンゼロの世界に近づけるように、頑張っていきたいと思っています。

議員 計画の策定段階から議会が関わることができれば、市役所と議会が一体となり、計画を推進することができると考えます。今後、新たな計画を策定する際などは、議会が関わることができるような仕組みをつくりたいと考えますが、所見を伺います。

市長 ご指摘は非常に正しいと思います。計画策定の際には、途中経過を報告し、意見をもらいながら、帰着点を見つけていくのがよいと考えます。これからの計画策定については、注意してやっていきたいと思っています。

■その他の質問

・スポーツで本市を盛り上げる施策について

委員会では

次の議案を審査しました

本会議で各常任委員会に付託された議案の審査結果について、定例会最終日に行われた委員長報告から要旨を抜粋してお知らせします。

総務企画委員会

■太田市職員の定年等に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市職員の降給に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市職員の再任用に関する条例の廃止について

審査結果 原案可決

■太田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市職員の退職手当に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

(次ページへ続く)

■太田市議会議員及び太田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について
審査結果 原案可決

■太田市議会議員及び太田市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部改正について

説明 公職選挙法が改正されたことを受け、太田市議会議員選挙及び太田市長選挙においても、選挙公報への掲載文等の申請を電子データでも提出可能とするため、所要の改正を行うものです。

問 今後の選挙公報の周知促進への考え方について伺います。

答 ささまざまな手法を活用し、周知方法の拡大に努めていきたいと考えます。

審査結果 原案可決

■財産の取得について

説明 (仮称)太田西複合拠点公共施設建設事業用地を、太田市土地開発公社から取得するものです。

問 取得予定地の測量や不動産鑑定にかかる費用の取り扱いについて伺います。

答 太田市土地開発公社との事務委任契約により、本市が測量及び不動産鑑定に要

する費用を負担すると定められています。

問 (仮称)太田西複合拠点公共施設の進捗状況、事業費及び財源構成について伺います。

答 実施計画がおおむね完成しており、工事請負契約締結の議決後、令和6年度中のオープンを予定しています。事業費は合計額22億6,200万円、財源構成は地方債が19億8,300万円、一般財源が2億7,900万円を見込んでいます。

審査結果 原案可決

市民文教委員会

■太田市体育施設条例の一部改正について

審査結果 原案可決

都市産業委員会

■太田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

説明 只上地区 地区計画において、地区内の良好な工業環境の創出と周辺住環

境との調和の両立を図るため、建築基準法に基づき、所要の改正を行います。

問 建築物の高さの制限の変更に伴う建物の階数の見込みについて伺います。

答 25㍍以下のA地区は5、6階建て程度、15㍍以下のB地区は3、4階建て程度をそれぞれ想定しています。

問 地区内での建築計画等、企業からの問い合わせ状況を伺います。

答 福利厚生のための社員寮を建てたいといった要望を踏まえて、本地区計画の変更に至りました。

審査結果 原案可決

■太田市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部改正について

説明 「住宅の質の向上及び円滑な取引環境の整備のための長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部を改正する法律」により、良質な既存住宅を長期優良住宅として認定する制度が創設されたことから、所要の改正を行います。

問 工事を伴わない既存建築物が長期優良住宅の認定を受けることについて伺います。

答 従前は新築あるいは増改築時に認

定を行っていましたが、本改正により、長期優良住宅としての基準を満たしている既存建築物についても、維持保全計画を改めて提出することにより認定が受けられるようになります。

審査結果 原案可決

■太田市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について

説明 「特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律施行規則」の改正趣旨に鑑み、特定公共賃貸住宅の入居資格要件について、所要の改正を行います。

問 本改正に伴い、里子やパートナーシップ宣誓制度による同性パートナーを親族に準じ、入居可能としますが、入居申込者が増えた場合に当該住宅を新設する考えについて伺います。

答 現在、空き部屋があることから、新たに建設する予定はありません。

問 群馬県のパートナーシップ宣誓制度導入後の本市の市営住宅への申し込み状況について伺います。

答 本制度の導入を受けて、令和3年4月1日から入居受け付けを開始していますが、窓口への相談はまだありません。

審査結果 原案可決



9月6日の本会議で設置された決算特別委員会に「令和3年度太田市一般会計歳入歳出決算認定について」など8件の議案が付託され、9月13日から15日の3日間にわたり慎重に審査を行いました。

各委員の審査後、総括質疑と討論が行われ、採決の結果、それぞれ認定すべきものと決定しました。

委員会審査での主な質疑、要望、意見を委員長報告から抜粋してお知らせします。

決算特別委員

(R4・9・6選任)
(R4・9・13一部変更)

- | | |
|------------|-----------|
| ◎大 川 陽 一 | 今 井 俊 哉 |
| ○長 た だ す け | 高 田 靖 |
| 神 谷 大 輔 | 渡 辺 謙 一 郎 |
| 八 長 孝 之 | 大 川 敬 道 |
| 水 野 正 己 | 矢 部 伸 幸 |
| 高 橋 え み | 町 田 正 行 |
| ◎委員長 | ○副委員長 |

一般会計

歳 入

問 市税の滞納繰越分における収納率向上への取り組みについて伺います。

答 収納率の高い自治体において、文書催告による期限内納付を徹底した量的滞納整理と、折衝や滞納処分を中心とした質的滞納整理を計画的に組み合わせて滞納整理を進めています。本市においても、他市で取り組んでいる先進的事例や

成功例を積極的に取り入れることで収納率向上に結び付けたいと考えます。

問 ふるさと応援寄付金の増加した要因と今後の取り組みについて伺います。

答 新たなポータルサイトの開設や魅力ある返礼品を増やすなどの取り組みにより、多くの寄付件数と金額をもたらすことができました。今後も歳入を増やす有効な手段と捉え、さまざまな手法を調査研究していきたいと考えます。

■その他主な質疑、要望等

- ・法人市民税収入の今後の見通しについて
- ・保育所運営費保護者負担金の第2子無償化の考え方について
- ・債権管理部門の一元化について
- ・財政調整基金の弾力的な運用について

教 育 費 に
係 る 歳 入

問 学校給食費に係る債権管理の考え方について伺います。

答 給食費無料化により滞納金支払いの意識低下が懸念されることから、コロナ禍により中断していた訪問徴収や相談業務の再開により滞納金の徴収に努めています。著しく徴収が困難なケースについては不能欠損処分とする等、引き続き滞納状況を精査し、対応していきたいと考えます。

問 不確実性のある企業版ふるさと納税寄附金を継続的に予算計上することについて、所見を伺います。

答 当該寄附金は寄附者との協議により計上されており、今後の納入については寄附者である企業の判断を見極めた上での対応を考えています。寄附金はあくま

で寄附者の意向に基づくものであることから、今後も寄附者となる企業の経営状況や将来性等を注視しながら予算に組み込んでいきたいと考えます。

■その他主な質疑、要望等

- ・利便性向上を目的とした就学援助費支給規則の見直しへの考え方について

歳 出

●総務費

問 行政のデジタルを活用した取り組みについて伺います。

答 給付金手続きやアンケート調査における「ぐんま電子申請」の活用を推進するとともに、今年度はマイナンバーを活用した諸証明のコンビニ交付サービスを開始しました。今後は各課が実施しているアプリ等、情報伝達の統合を図り、LINEによるプッシュ型の情報提供、さらには、道路破損等の通報や施設の予約などもできるよう機能を追加していきたいと考えます。

問 (仮称)太田西複合拠点公共施設の開設に向けた行政サービスの展望について伺います。

答 ワークショップ等で出た意見を設計に反映し、図書館のICT化やサービスセンター等、多部局で調整を図り、市民に喜ばれる魅力あふれる複合施設にしていきたいと考えています。

■その他主な質疑、要望等

- ・市庁舎12階の会議室及び多目的室の活用状況について
- ・投票後の証明書提示による選挙割サービスの検討について
- ・体育施設への空調設備の設置について

● 民生費

問 保育士の処遇改善に関する本市の諸施策について伺います。

答 保育士修学資金貸付事業及び保育士奨学金返済支援事業に加え、外国人の保護者との会話に用いる翻訳や午睡チェックにおける事故防止等のICTシステム導入に対する補助を実施しました。業務の効率化による保育環境の改善を図るとともに、保育の質の向上につなげていきたいと考えます。

問 コロナ禍におけるファミリーサポート事業の運営状況について伺います。

答 強い使命感を持って育児の援助に従事したことに対する支援として、まかせて会員へ慰労金を支給しました。今後も会員同士の交流を深め、共助による意識の醸成に努めていきたいと考えます。

■ その他主な質疑、要望等

- ・ ども食堂及びフードバンクとの連携による支援対象児童等見守り強化事業の実施提案について
- ・ 生活保護受給前のセーフティネットとしての住居確保給付金、緊急小口資金等、融資制度の活用による効果について
- ・ 子育て世代サービス拡充のため日曜日に児童館を開設することについて



● 衛生費

問 各種けんしんの受診率向上につながる効果的な受診勧奨方法について伺います。

答 現在、LINE等から新型コロナウイルスワクチン接種の予約を受け付けており、高齢者の間でも浸透してきていることから、幅広い年齢層にLINEを通じたけんしん等の情報発信に努めたいと考えます。また、今後、受診券の送付に当たっては、ナッジの活用も視野に入れ、開封したくなるような表記の変更について検討したいと考えています。

問 ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みについて伺います。

答 太陽光発電システム導入報奨金及び省エネルギー機器設置費補助金制度に、新たに蓄電池導入報奨金をメニューに加え、広報やホームページと併せ、ハウスメーカーや設置業者に周知し、脱炭素社会の実現を推し進めたいと考えています。なお、太陽光発電システムや蓄電池の設置については、多額の初期費用が必要となることから、他市の施策や申請状況等によっては、今後、報奨金等の増額を検討したいと考えています。

■ その他主な質疑、要望等

- ・ 無縁墓地化対策について
- ・ 斎場での新型コロナウイルス対策の制限緩和について
- ・ クビアカツヤカミキリ防除対策拡充について

● 労働費

問 おおたなでしこ未来塾受講後のフォローアップについて伺います。

答 卒業生と受講生とのネットワークを構築し、なでしこマルシェの開催やインターネットでの販売の推進など、起業へのチャレンジを後押ししていきたいと考えます。

問 キャリア教育支援事業の今後の展開について伺います。

答 昨年度は支援事業としてワーク・ライフインターンプログラムを実施しましたが、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となりました。人と人がじかに触れ合い、社会人の日常というリアルな体験をすることが難しくなっているため、今後はコロナ禍に対応した新たなキャリア教育支援を検討したいと考えています。

■ 主な質疑、要望等

- ・ 浜町勤労会館の存続に向けた考え方について

● 農林水産業費

問 道の駅おおたを運営することに対する考え方について伺います。

答 過去には運営に対する意見の相違から離れてしまった出荷者がいましたが、現在は商品の搬入時間や配置のレイアウト等、出荷者を第一に考えることで、出荷者は増加しており、少しずつ信頼関係を構築することができています。また、指定管理者も施設の利用に対して制限がある中、売り上げアップに向けた新たな取り組みを進めるなど、新鮮な市内産の野菜や商品の提供を通じて、地場産品のPR及び道の駅おおたのイメージアップにつなげたいと考えます。

問 地産地消の推進について伺います。

答 本市は群馬県の重点8品目に指定された野菜が多く生産されている地域であることから、市民が地場産品の魅力に気付くきっかけとして、おおたマルシェ等において、市内産の野菜等の販売や無料配布を行い、地産地消の推進につなげていきたいと考えます。



■ その他主な質疑、要望等

- ・ 有害鳥獣対策について
- ・ 豚熱対策について
- ・ ふれあい農園内の安全対策について

● 商工費

問 キャッシュレス決済推進のための取り組みについて伺います。

答 昨年度実施したキャッシュレスポイント還元事業では、総利用数は4万回を超え、市内経済への波及効果と同時にキャッシュレス決済の推進に寄与することができたと考えます。今後は、金券のデジタル化を実施し、導入の際にはプレミアムを付与することで市民の注目を集め、キャッシュレス決済の推進につなげていきたいと考えています。なお、高齢者等キャッシュレス決済が不慣れな人に対しては、さ

まざまな広報媒体を通じてアプリの操作方法を周知するとともに、窓口や電話等で親切丁寧な対応を行いたいと考えます。

問 まちの持続的な発展の基盤をなす人材育成の取り組みについて伺います。

答 将来を担う子どもたちに対して、起業や就労に必要な能力を習得する試みとして、アントレプレナーアカデミーやプログラミング普及講座等を開催し、意欲的な子どもたちが数多く参加しています。人材育成はすぐに結果が出るものではありませんが、将来、本市において起業や就労する人材が出てくることを期待し、本市独自の人材育成事業を継続して実施していきたいと考えます。

■ その他主な質疑、要望等

- ・ 各種補助金のあり方について
- ・ プレミアム金券の発行による経済効果について

● 土木費

問 市街化調整区域における集落の維持に向けた考え方について伺います。

答 基幹的な集落を中心に生活の利便性を再構築し、生活インフラとして公共交通網を充実させることが必要です。都市計画マスタープランを基本とし、群馬県が作成している人口減少下における土地利用ガイドラインとの整合性を図りながら、地域コミュニティの維持に取り組むべき手法を研究し、次のマスタープランに反映できるよう進めていきたいと考えます。

問 公共施設の維持管理について伺います。

答 各施設の保全計画に基づき、老朽化した外壁や屋根の改修、空調設備や電気照明設備の更新等の工事監理を行っています。今後も、各施設と連携し予防保全に努め、公共施設維持管理マニュアルの活用を周知することで、施設の長寿命化を図っていききたいと考えます。

■ その他主な質疑、要望等

- ・ 花いっぱい運動の推進について
- ・ 幹線道路整備事業の進め方について
- ・ 市街地再開発事業の検証について
- ・ 街路灯の一元管理について

● 消防費

問 消防団員個人を対象とした出動手当の新設への考え方について伺います。

答 現在消防団と消防本部が共同して団員の処遇改善等を検討するプロジェクトチームを立ち上げ、消防団組織のあり方や報酬等について研究を進めています。団員の処遇は活動実績に応じて報われるべきと考えられることから、プロジェクトチームの議論を踏まえ、処遇改善に努めていきたいと考えます。

問 災害に強いまちづくりの構築に向けた自主防災組織の活性化について伺います。

答 市内全15地区に自主防災組織が存在していますが、コロナ禍の影響等により活動が停滞しているケースが見受けられます。市民にとってより身近な行政区ごとに、地域一丸となって活動できる自主防災組織の体制整備を目指し、区長へのアンケート調査により行政区の実態を把握

する等、それぞれの自主防災組織の活動を支援していきたいと考えます。

■ その他主な質疑、要望等

- ・ 男性消防職員の育児休業取得促進に向けた取り組みについて
- ・ 消防水利の整備状況について
- ・ コロナ禍において救急活動に当たる消防職員の惨事ストレス対策について

● 教育費

問 教育現場に導入されたタブレット端末の活用状況と今後の目標について伺います。

答 アプリケーション機能の理解が進んだことにより、各教科における単なる調べ学習や個別学習だけでなく、討論や発表といった場面での活用が見受けられます。今後はICT活用実践事例を参考とした教科横断的な運用により、より一層の学力向上につなげたいと考えます。

問 子どもたちにより良い教育、指導が行える体制づくりについて伺います。

答 限られた人材を有効に活用するため、教員への効果的な研修機会の確保に努めています。また、各種教科指導員制度の導入により、それぞれの教科等指導のほか生徒指導、特別支援教育、外国人児童・生徒教育の分野において指導に長けた中堅、ベテラン教員が若手職員等に指導・助言を行うことで、教員の資質向上を図る環境が整備されています。



■ その他主な質疑、要望等

- ・ 通学路の安全確保に関する対応状況について
- ・ 各種検定料助成金の拡充に向けた考え方について
- ・ 学校と部活動指導員との連携体制構築の必要性について

● 基金の運用状況に関する調査

問 財政調整基金を取り崩し、モバイルアプリケーション等を使った納税者への還元を実施することについて、所見を伺います。

答 電子通貨の推進や事務の効率化を考えると非常に有効な手段です。昨今の円安や国債価格の下落等による影響、また高齢化による社会保障費の増大等が見込まれるため、当初予算編成におけるバランスや費用対効果等を考慮しながら検討していきたいと考えます。

特 別 会 計
公 営 企 業 会 計

● 八王子山墓園特別会計

■ 主な質疑、要望等

- ・ 墓地管理料滞納者における墓地使用权について
 - ・ 少子高齢化や核家族化の加速による無縁墓地化対策について
- (次ページへ続く)

●介護保険特別会計

問 認知症初期集中支援事業の委託料と利用者の実績を勘案した上での効果に対する所見について伺います。

答 利用者は10人でしたが、医師、介護等の専門員で構成されたチームによる早期のアウトリーチや自立生活のサポート等を必要なタイミングで受けられることに本事業の効果があると認識しています。認知症に係る啓発や地域支援ケア向上事業による認知症サポーター養成講座を開くなど、利用者の拡大に向けてさらなる周知を図っていきたいと考えます。

●太陽光発電事業特別会計

問 市営の大規模太陽光発電所における防犯対策について

答 昨年度は2カ所の発電所においてケーブルの盗難が発生し、多額の被害額及び発電ができなくなったことによる売電収入の減少が生じてしまったことから、防犯カメラ及び防犯灯の設置とあわせて、機械警備を導入し、同じような事象が生じないよう、防犯対策の強化を図りたいと考えます。

●下水道事業等会計

問 受益者負担金の分納誓約者に対する対応について伺います。

答 分納誓約は納付者の生活状況等を確認しつつ、改善できる場合は改善するという考えのもと交わっていますが、今まで滞納者の状況は窓口や電話等で確認はしているものの、誓約内容の見直しを行った例はありませんでした。今後は、積

極的に面談を行い、状況把握に努め、収入未済額の縮減を図りたいと考えます。

■その他主な質疑、要望等

・太田市下水道事業審議会の下水道料金改定の答申を受けたことに対する所管課の考えについて

総 括 質 疑

問 太田市立図書館のICT化について、効率性、利便性の観点から4館同時に導入することについて、所見を伺います。

答 図書館のICT化は、図書館運営の効率化や利用者へのサービス向上が期待できることから、(仮称)太田西複合拠点公共施設に設置される図書館に導入する予定です。4館同時での導入については、多額の費用がかかることから、市民のニーズや政策課題の優先度を勘案し検討していきたいと考えます。

問 非課税世帯を対象とした国のコロナ禍、物価高騰対策支援に対し、課税世帯との間に逆格差が生まれることに関し、市として支援すべきと考えますが、所見を伺います。

答 国からの交付金を活用し支援を行いたいと考えます。

■その他主な質疑、要望等

- ・令和3年度決算における評価と今後の財政運営について
- ・財政調整基金のあり方について
- ・保育料第2子無償化について
- ・公共施設マネジメントについて
- ・水害対策について

表紙の続き

学生2人にインタビューしました！

- ①議会を傍聴した感想を教えてください。
- ②一般質問を傍聴し、興味を持った話題はなんですか？
- ③傍聴して、議会や議員へのイメージに変化はありましたか？
- ④これからの太田市に期待することはありますか？



あべしょうた
阿部翔太さん



おなやはづき
女屋葉月さん

- ①市の施策や普段は聞けない質問、いろいろな考え方を聞くことができ、良い経験となりました。
- ②自主防災組織について興味を持ちました。安全に暮らすために個人や地域で連携し、自助の意識を向上させることが大切だと分かりました。
- ③地域住民の意見を聞き、議会を通してやり取りする姿を見て、イメージが大きく変わりました。
- ④産業に力を入れ、若者にも来てもらえるまちづくりをして、市内はもちろん、市外、県外の人からも愛されるまちになってほしいです。

- ①とても貴重な機会となりました。質問内容も興味深いものであり、市のさまざまな取り組みについて知ることができました。
- ②個別避難計画にとっても興味を持ちました。「自分の命は自分で守る」という言葉から日頃の備えの必要性は感じています。高齢者や障がい者は災害時の対応が難しいそうですが、太田市は一人暮らしの人を把握していると分かり、安心しました。
- ③とても深い内容が議会で話し合われているということ今まで知りませんでした。真剣に向き合い、話し合いをしてくれていることに気づきました。
- ④さまざまな取り組みを活かし、住みやすく若者が多い、魅力的なまちになってほしいです。

(関連記事1ページに)

9月定例会の

議案の審議結果をお知らせします

《市長提出議案》

番 号	件 名	付託先	審議結果	採決結果
報告第5号	令和3年度太田市下水道事業等会計継続費精算報告書について	—	報告	—
報告第6号	令和3年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率について	—	報告	—
議案第57号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	可決	賛成全員
議案第58号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	可決	賛成全員
議案第59号	令和4年度太田市一般会計補正予算(第4号)についての専決処分について	省略	承認	賛成全員
議案第60号	令和3年度太田市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	賛成多数
議案第61号	令和3年度太田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	賛成多数
議案第62号	令和3年度太田市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	賛成全員
議案第63号	令和3年度太田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	賛成多数
議案第64号	令和3年度太田市八王子山墓園特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	賛成多数
議案第65号	令和3年度太田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	賛成多数
議案第66号	令和3年度太田市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	認定	賛成全員
議案第67号	令和3年度太田市下水道事業等会計決算認定について	決算特別	認定	賛成多数
議案第68号	令和4年度太田市一般会計補正予算(第5号)について	省略	可決	賛成多数
議案第69号	令和4年度太田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	省略	可決	賛成全員
議案第70号	令和4年度太田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	省略	可決	賛成全員
議案第71号	令和4年度太田市八王子山墓園特別会計補正予算(第1号)について	省略	可決	賛成全員
議案第72号	令和4年度太田市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	省略	可決	賛成全員
議案第73号	令和4年度太田市太陽光発電事業特別会計補正予算(第1号)について	省略	可決	賛成全員

議案第74号	令和4年度太田市下水道事業等会計補正予算(第1号)について	省略	可決	賛成全員
議案第75号	太田市職員の定年等に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第76号	太田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第77号	太田市職員の降給に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第78号	太田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第79号	太田市職員の再任用に関する条例の廃止について	総務企画	可決	賛成全員
議案第80号	太田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第81号	太田市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第82号	太田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第83号	太田市議会議員及び太田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第84号	太田市議会議員及び太田市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第85号	太田市体育施設条例の一部改正について	市民文教	可決	賛成多数
議案第86号	太田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	都市産業	可決	賛成全員
議案第87号	太田市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部改正について	都市産業	可決	賛成全員
議案第88号	太田市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	都市産業	可決	賛成全員
議案第89号	財産の取得について(太田市総合体育館体育備品一式)	省略	可決	賛成多数
議案第90号	財産の取得について((仮称)太田西複合拠点公共施設建設事業用地)	総務企画	可決	賛成多数
議案第91号	太田市社会教育総合センター空調設備改修工事請負契約締結について	省略	可決	賛成全員
議案第92号	太田市清掃センター解体撤去工事請負契約締結について	省略	可決	賛成全員

《請 願》

番 号	件 名	結 果
請願第14号	「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求めることについて	不採択

《陳 情》

番 号	件 名
陳情第27号	社会福祉法人太田市社会福祉協議会に関することについて